

なぜなに やまもり

山や森についてもっと知ろう!

森林が持つ水源涵養機能

人工林は天然林と違い、定期的な手入れが必要です。森林の環境を整えることで、質の良い木材が育つだけでなく、私たちの生活を豊かにするたくさんの機能を発揮します。その中のひとつに、洪水の緩和や水をきれいにする「水源涵養(すいげんかんよう)」機能があります。

この機能は、森林に降った雨や雪が、地表や地下を流れたり、蒸発したり、いろいろな道のりで森林を移動することで発揮します。

森林で雨が降ると...

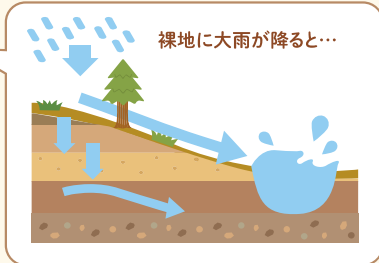
- 1 葉や枝にぶつかって地面に到達する前に蒸発して大気に戻る
- 2 葉や幹を伝って地面へ流れる
- 3 地面にしみ込み、地下をゆっくり流れる
- 4 しみ込まなかつた雨は地表を流れる
- 5 植物が土から水を吸収し大気に放出する
- 6 河川へと流れる



森林の土壌が雨水を浸透させる力は、草地の2倍、土がむき出しになっている裸地の3倍と言われています。

間伐などの森林整備を行い、森林の持つ機能を発揮させることが大切です。また、木を伐って活用した後は、再び新しい苗木を植えて森林の持つ機能を回復させることが大切です。

山形県では「やまがた緑環境税」を活用して手入れの行き届かない森林の整備や再造林を支援しています。



裸地に大雨が降ると...

企業だって 株式会社でん六 森づくり

株式会社でん六 でん六幸せの森 編

Q 株式会社でん六さんはどんな企業ですか?

「豆はでん六」のフレーズでもおなじみのお菓子の製造・販売を行う会社です。大正13年(1924年)創業で、今年度で創業100周年を迎えます。豆菓子、ナッツ、チョコレート、おつまみなどを製造し、全国だけでなく、台湾を始めとする海外への輸出も行っています。また、地域密着型の企業として、地元の皆様との絆を大切にするために様々な形で社会貢献を実践しています。

Q 森づくり活動を始めたきっかけは何でしょうか?

当社は創業100周年を迎えるにあたり、これまで支えてくださった地元の皆さまへの恩返しとして、



株式会社でん六 総務部 部長 阿部 芳敬さん

地域に貢献できる活動を模索しておりました。また、企業としてSDGs経営を推進する中で、「地域の自然・環境の保全」を優先課題の一つに掲げました。これらのことがきっかけとなり、当社の工場で使用している蔵王の伏流水の水源地である上山市の森を「でん六 幸せの森」と名付け、活動を開始しました。



活動前にしっかりと安全研修を行います!

Q 「でん六 幸せの森」ではどんな活動をされていますか?

社内有志を集めて下刈りや枝打ち作業を行っています。作業終了後には、参加者同士で昼食を楽しむ時間を設け、社員間の親睦も深めています。今後は整備した林内を活用した

自然観察や木工クラフトなどもやっていきたいと考えています。また、昨年の11月の活動では、当社の活動内容や森づくり活動に対する思いを掲載した看板の除幕式も行いました。



下刈り作業 鈴木社長も参加されました!

Q 参加者からの感想はいかがでしたでしょうか?

作業前のうっそうとした様子が見ると清々しい気持ちになるとのこと好評です! また、前回の活動には、鈴木社長自らも参加し作業することで、社員一人ひとりが環境保全の意識を高めるきっかけとなったようです。そのため、今後は社長が作った流れを絶やさないように、森づくりの仲間を増

Q 目指すところは?

今後はさらに活動の幅を広げることを目標としています。例えば、工場見学をした後に森林整備を体験してもらい、蔵王温泉でゆっくりしながらでん六の商品を食べてもらおう。そして山形県にいなと感じていただき、また来てもらう。このような流れを作り、観光資源の一つとして活用していければ理想だなと思っています。こうして森づくり活動を通して地域社会とのつながりを強化し、企業としての社会的責任を引き続き果たしていきたいと思っています。



看板の前で集合写真